

年 月 日

## アディクション・カウンセラー養成講座 受講申込書

日本心理カウンセラー養成学院 宛  
下記の通り、受講を申し込みます。

フリガナ 氏名	
生年月日	年 月 日
ご住所	
電話番号（自宅・携帯）	
FAX番号	
E-mailアドレス	
お申込クラス	大阪 曜 クラス
お申込内容 （お申込される項目に✓を 入れてください）	<input type="checkbox"/> 全てセットでお申込
	<input type="checkbox"/> ① 家族について（全6回）
	<input type="checkbox"/> ② カウンセリングの概要（全3回）
	<input type="checkbox"/> ③ 依存症について①（全7回）
	<input type="checkbox"/> ④ 感情について（全8回）
	<input type="checkbox"/> ⑤ 認知について（全5回）
<input type="checkbox"/> ⑥ 依存症について②（全9回）	
所持資格	
別紙受講規約に同意いたします。	
_____年 月 日	
署名 _____	

※ご記入いただきました個人情報は、当団体の受講生管理以外の目的で使用いたしません。

お申し込みは、本申込書をFAXでお送りください。

日本心理カウンセラー養成学院  
TEL: 0120-646-556 FAX: 06-6532-5040

第4期 アディクションカウンセラー講座スケジュール 5月開講 (日本心理カウンセラー養成学院様)

◆家族について (全6回)				
1	家族心理学の考え方	家族心理学の考え方	5/8	依存症は家族の人間関係の副産物で引き起こされるとも考えられています。 この单元では、家族心理学での基本的な考え方から、依存症の当事者を家族に持つ方への動機付けや関わり方の支援 (CRAFT) などを学んでいきます。 依存症のご家族への支援だけでなく、不登校、引きこもりの家族の支援にも役立てることができます。
2	行動について (条件付け、ブリーフセラピー)	家族へのアプローチ	5/15	
3	CRAFT①		5/22	
4	CRAFT②		5/29	
5	機能不全家族、共依存①	共依存、家族療法	6/5	
6	機能不全家族、共依存②、家族療法		6/12	
◆カウンセリングの概要 (人との関わり方の基礎となる手法) (全3回)				
7	来談者中心療法	カウンセリングの概要	6/19	どの心理療法を行うにも基本的に身につけておくべき関わり方と、心理療法の基礎を学びます。 一度学んだ方も、復習としてぜひお受けください。
8	交流分析		6/26	
9	行動療法 (行動や身体からの影響、リラクセス法)		7/3	
◆依存症について① (全7回)				
10	全体像	依存症について知る	7/10	依存症は「慢性的で再発性の高い脳の疾患」と言われています。他のいくつかの精神疾患と同様、完治は無く、症状をマネジメントしていきながら、病とともに生きていくこととなります。 本章では、専門性の高いカウンセリングというよりは、まず依存症そのものを知り、身近に依存症の当事者がいた場合の関わり方、対処法などを学びます。
11	生理学と薬理学		7/17	
12	回復とは		7/24	
13	様々な問題 (スティグマ、女性、子供)		7/31	
14	回復資本		8/7	
15	マトリックスモデル		8/21	
16	まとめ		8/28	
◆感情について (全8回)				
17	感情についての概要、怒り、悲しみ	感情を知る	9/4	ワンネスグループでは、依存症の原因は「生きづらさ」であると考えます。ネガティブな感情を抱え、それをうまく対処しきれないために、依存対象に向かうのです。今回は、表情学の権威、P.エクマンの考える基本的な6つの感情に沿って、それぞれを深く知り、対処法を学んでいきます。 ワンネスグループで始める、新しいカウンセリングの関わり方に興味のある方は、こちらをご受講いただくことをお勧めいたします。
18	恐怖、嫌悪		9/11	
19	喜び、驚き (ポジティブ心理学を含む)		9/18	
20	アンガーマネジメント	感情を扱ったセラピー	9/25	
21	グリーフケア① (自らのグリーフを振り返る)		10/2	
22	グリーフケア② (グリーフケアで使われる関わり方)		10/9	
23	トラウマケア① (脱感作について)		10/16	
24	トラウマケア② (NLP、ゲシュタルト療法など)		10/23	
◆認知について (全5回)				
25	認知・思考について (一般的な認知行動療法)	認知を知る	10/30	様々な精神疾患で有効性が証明されている認知行動療法。依存症のカウンセリングでも、広く活用されています。 本章では、一般的な認知行動療法の方法から、渴望、再発、拒絶などの場面ごとに備える手法について学びます。
26	渴望に対するカウンセリング		11/6	
27	依存症の認知行動療法①	依存症で扱う認知行動療法	11/13	
28	依存症の認知行動療法②		11/20	
29	マインドフルネス、弁証法的行動療法		11/27	
◆依存症について (全9回)				
30	依存症のカウンセリング	依存症発祥のセラピー①	12/4	海外では、日本以上に依存症への問題意識が高いですが、依存症の支援が発祥の様々なセラピーも生まれています。 今回は、自分の意思ではなく連れてこられた依存症当事者への関わり方から、伝統的なプログラムである「12ステッププログラム」の概要、その他、他の分野でも活用が広がっているセラピーも含めて学んでいきます。 また事例を活用し、どのように関わっていくかを一緒に考えていきます。
31	動機付け面接、随伴性マネジメント		12/11	
32	12ステップ	依存症発祥のセラピー②	12/18	
33	グループでのカウンセリング		12/25	
34	アセスメントの概要		1/8	
35	依存症のアセスメント	依存症のアセスメント	1/15	
36	事例検討①		1/22	
37	事例検討②		1/29	
38	事例検討③	2/5		
39	試験対策	試験対策講座	2/12	
40	認定試験	認定試験	2/19	

N.A.D.A.I アディクション・カウンセラー養成講座  
受講規約

この規約は、受講生が日本心理カウンセラー養成学院、ならびにJAAI（日本アディクションインタベンショニスト協会、以下JAAI）の提供する通学型の講座を利用する際に、適用する事項を定めたものです。

【入学・受講申込】

- ①申し込み用紙の必要事項をご記入いただき、FAXの送信にて受講申込を完了させてください。以上をもって正式な「受講申込」とさせていただきます。
- ②受講料は初回講義受講時まで、受講生単位でお支払いいただきます。
- ③受講申込の受付は、初回講義以前に定員に達した場合、締め切らせていただきます。
- ④各クラス申込後、キャンセルのお申し出をされた場合は、【入学金・受講料】②項に従い入学金及びキャンセル料を徴収させていただきます。

【クラスの閉講・休講・変更】

- ①受講生数が一定に達しない場合、あるいはやむを得ない事由がある場合、クラスを閉講することがあります。
- ②クラスの閉講は、当該期初回開講日の7日前までに決定いたします。
- ③開講後において、下記の場合には、クラスを休講・閉講または延期することがあります。
  - (a) 交通機関のストライキ、台風・地震等の天災地変、暴動やクーデターのとき
  - (b) 担当講師の不測の事故、病気、慶弔時等のとき
  - (c) 施設の保守点検、改修工事等がおこなわれるとき
  - (d) その他、事務局が、不可抗力により開講が不可能と判断したとき
- ⑤クラスの閉講など、事務局の都合により、科目の変更・キャンセルや受講時期の延期をせざるを得ない場合、速やかに受け取った教材（データ）を返送（破棄）していただきます。返送の場合、送料は事務局の負担とします。

【入学金・受講料】

- ①受講料は全額前納となります。支払い方法は銀行振込のみとなります。法人申込の場合、入学金及び受講料は開講月末締め・翌月末払い、銀行振込にて、お申込みの法人様よりお支払いいただきます。  
(領収書は取扱金融機関等の振込受領書をもって代えさせていただきます。)

②何らかのご都合により受講が不可能となった場合、納入された入学金、及び受講料を以下のルールに則り、お申込み者に対し返金、徴収いたします。

- (a) 当該クラス開講7日前までは、一切のキャンセル料は発生しないものとし、全額返金する。

(b) 当該クラス開講6日前から前日までの期間は、保証金 60,000 円及び、1 回あたりキャンセル料12,000円の合計額を徴収し、残りを返金する。

(c) 開講6日前から前日までの期間において、休学条件と同等とみなされる事由が発生した場合は、必要書類の提出後、審査により全額返金いたします。その場合、教材（データ）は速やかに返却（破棄）していただきます（教材返却時の送料はご負担願います）。

②上記手続きに伴う手数料等は、受講生、もしくはお支払者にご負担いただきます。

③JAAIの責に帰する閉講があった場合、開講6日前までに受講者に通知し、入学金、受講料を全額返金いたします。

#### 【教材のお届け】

N.A.D.A.I 認定 アディクション・カウンセラー養成講座（以下、当講座）の教材は、各講義の当日にお渡しいたします。

#### 【出席要件】

①クラスへの参加時間が、各講座のクラス開催時間のうち3分の2以上の場合に、当該授業回に出席したものとみなします。

②クラス開催時間の3分の1以上の遅刻、早退、途中退席など、参加時間が3分の2に満たさない場合は、当該授業回を欠席したものとみなします。

#### 【振替制度】

業務やその他のやむを得ない事由により、登録クラスに出席できない場合、以下の条件にて、同一講義の別のクラスに振替出席することができます。

##### 〈条件〉

(a) 振替を希望するクラスの開始時刻までに申請すること

(b) 振替先のクラスが、受講を開始した期に開講されている同一講義の他クラス、または翌開講期のクラスの当該回のクラスであること

※振替出席は、同一講義のみとなります。

(c) 振替を希望するクラスの定員に空きがあること

#### 【学校感染症による出席停止】

①感染症に罹患した場合には、クラス等への出席を停止するものとします。

②前項に従いクラスを欠席した場合、受講生からの申請及び医師の診断書等の提出をもって、出席停止の該当回については出席扱いとする特別措置を認めます。

#### 【再受講制度】

①当該クラス開講7日前に定員に余裕がある場合のみ、再受講できます。

⑤科目およびプログラムによっては、内容の変更等により本制度が適用されない場合があります。

### 【休学制度】

①クラス開講以降、振替制度を利用しても、以下のようなやむを得ない特殊事由により、当該クラスへの出席が難しく、全講義中4分の3の出席を満たせない場合、受講生の申請に基づき事務局が審査をした後、休学が認められる場合があります。

- ・天災・本人の入院・長期通院・二親等以内の家族ないしこれに準ずる方の死亡
- ・入院・社命による異動・長期出張・その他、事務局が認めるやむを得ない事由

※居住地の変更を伴わない異動等による業務多忙や執務環境の変化は、休学の申請事由として認められません。

②受講生は、休学を申請する場合、休学申請の事由を記した申請書を所定の方法にて事務局に提出するものとします。また、申請は、休学に相当する事象が発生次第、速やかに行っていただきます。事務局は、申請事由と申請時期を踏まえ、休学の審査を行います。

③休学申請が認められた場合、欠席した回は、翌開講期の当該回に受講していただくこととなります。

④休学期間は最長1年間とし、休学の延長は認められません。

⑤休学の後、受講が不可能になった場合でも、納入された受講料の返金はいたしません。

⑥復学するクラスは、事務局からの指示に従い、当該開講期の開始前に受講生が自分で選択するものとします。期限までに復学するクラスを選択しない場合は、事務局が復学クラスを指定します。

⑦クラスの受講に関する制度等については、復学時の受講規約を適用します。

### 【禁止事項】

以下のような行為が見られた場合、ご受講をお断りすることがあります。

①以下に例示するような著作権に関わる一切の行為

・カリキュラム内容・教材、配付資料等の複製（受講生本人が自身のデータ保管のために行う私的複製を除く）および他人への譲渡・SNS等におけるカリキュラム内容・教材、配付資料等の引用や転載・クラスでの写真撮影、録音、録画、キャプチャなど・他者の著作物（レポート、アサインメントをはじめとする成果物等）の剽窃

②受講生が意図的に、あるいは適切な措置を怠ったことにより、以下のような情報漏洩を起こすこと

・クラスで知り得た受講生の所属する企業に関する機密情報など、特定の範囲でのみ共有された情報を、クラス以外の場で漏洩した場合（クラスのメンバー以外の第三者に情報を伝えること、SNS等の情報媒体への書き込み等、一切の情報漏洩行為をした場合）

③宗教の勧誘活動、並びに物販の販売などの勧誘行為があった場合

④各種申請において、その申請内容に虚偽があった場合

### 【その他】

①暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる反社会的勢力の構成員、またはその関係者であることが判明した場合、受講前、中を問わずクラス受講をお断りいたします。

②当施設内での忘れ物については、3ヶ月間保管し、その後事務局にて処分します。